

# 臨場感ある共同体験を実現する技術がもたらす 新たな価値創造とパートナーシップ ～ 「みなっば」 を利用した実践例と将来構想の紹介 ～

2021年12月6日

国立研究開発法人情報通信研究機構

今井 弘二

# 社会的な背景

新型コロナウイルス感染症の長期にわたる影響で複数人が集まる形態に対してニューノーマルな転換が強く意識されるようになり、誰一人取り残さずに安心・安全にコミュニケーションなどがとれる新たな生活様式が求められています。



ソーシャルディスタンス



観光ツアーガイド



地域交流（文化の伝承）



多人数の鑑賞

# 本日の内容

**臨場感ある共同体験をもたらす技術**（通称「みなっば」）が

- どのようなパートナーシップを形成するのか？
- どのような新たな価値を創造しようとするのか？

について実践例や将来構想をご紹介します。



施設案内



科学教室



オンラインコンテスト

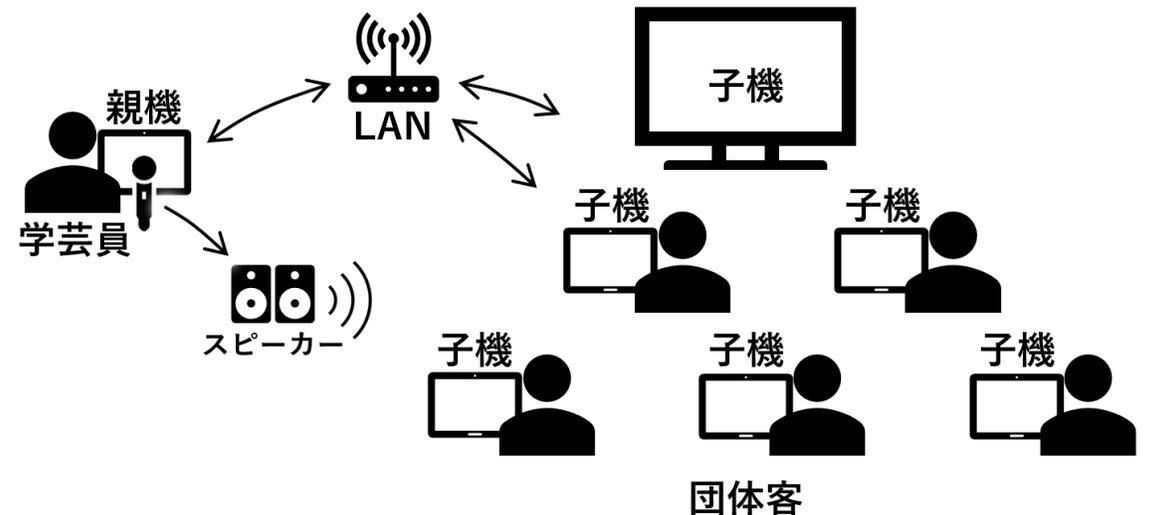
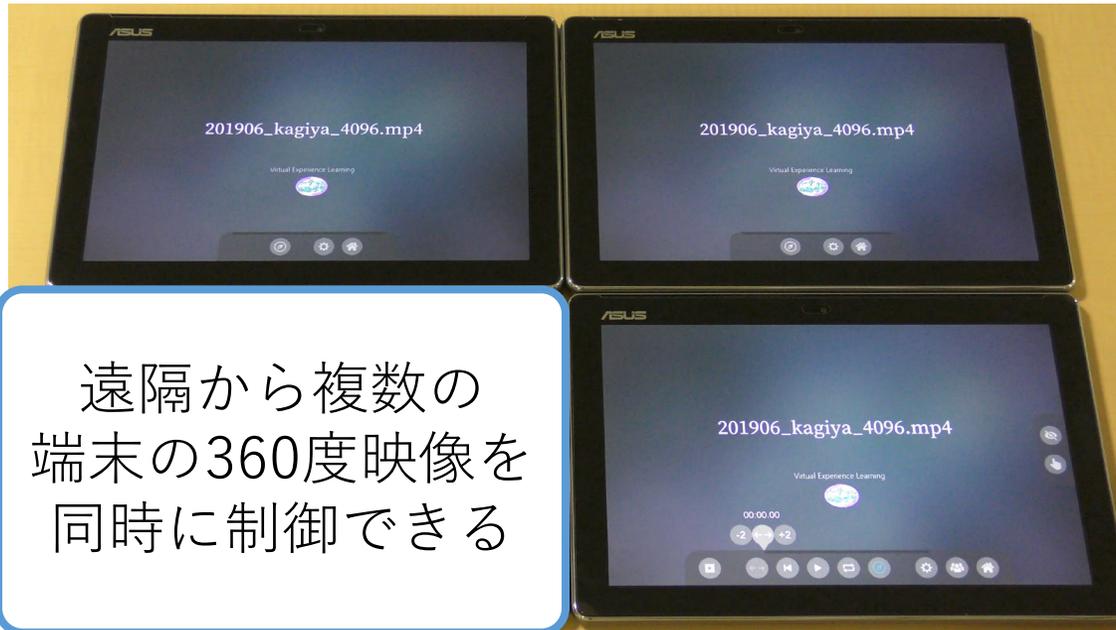


遠隔交流

# 遠隔からの施設案内

- コロナ禍で来館者と学芸員の密接を避ける取り組みとして実施。
- 展示室の全方位パノラマ映像(360度映像)を遠隔から学芸員が複数のディスプレイに同時に映して解説する形態。

実施形態：枚方宿鍵屋資料館  NICT



※ 休憩時間中にデモをします

# 科学教室における疑似体験

- 子ども達の夏休みの思い出作りも兼ねて、地域における環境などについて総合的な科学教育として実施。
- 子ども達がタブレットを操作して容易に見学できない場所を疑似体験する形態。

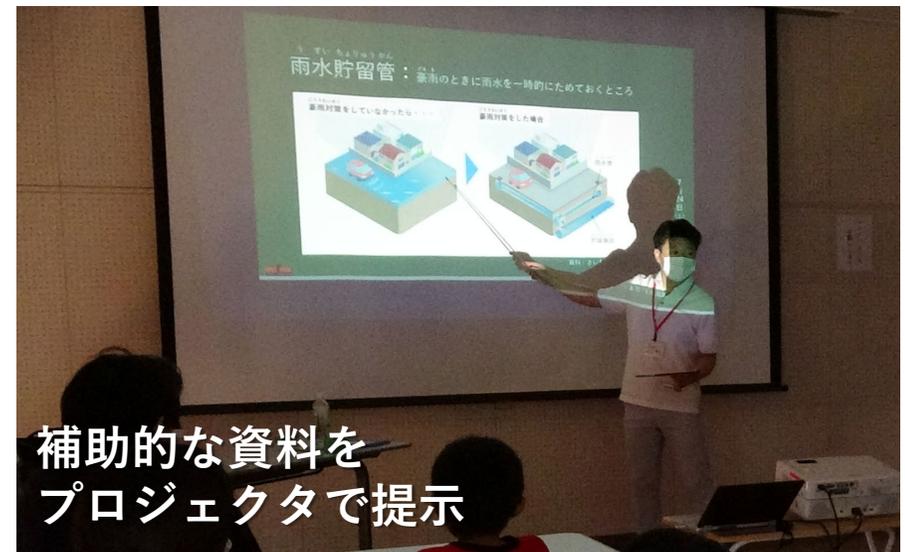


**対象者：**小学生(3年生以上)

**実施形態：**

NICT 

コミュニティ協議会  
地域の活動団体  
(むさしのこどもエコフォーラム)



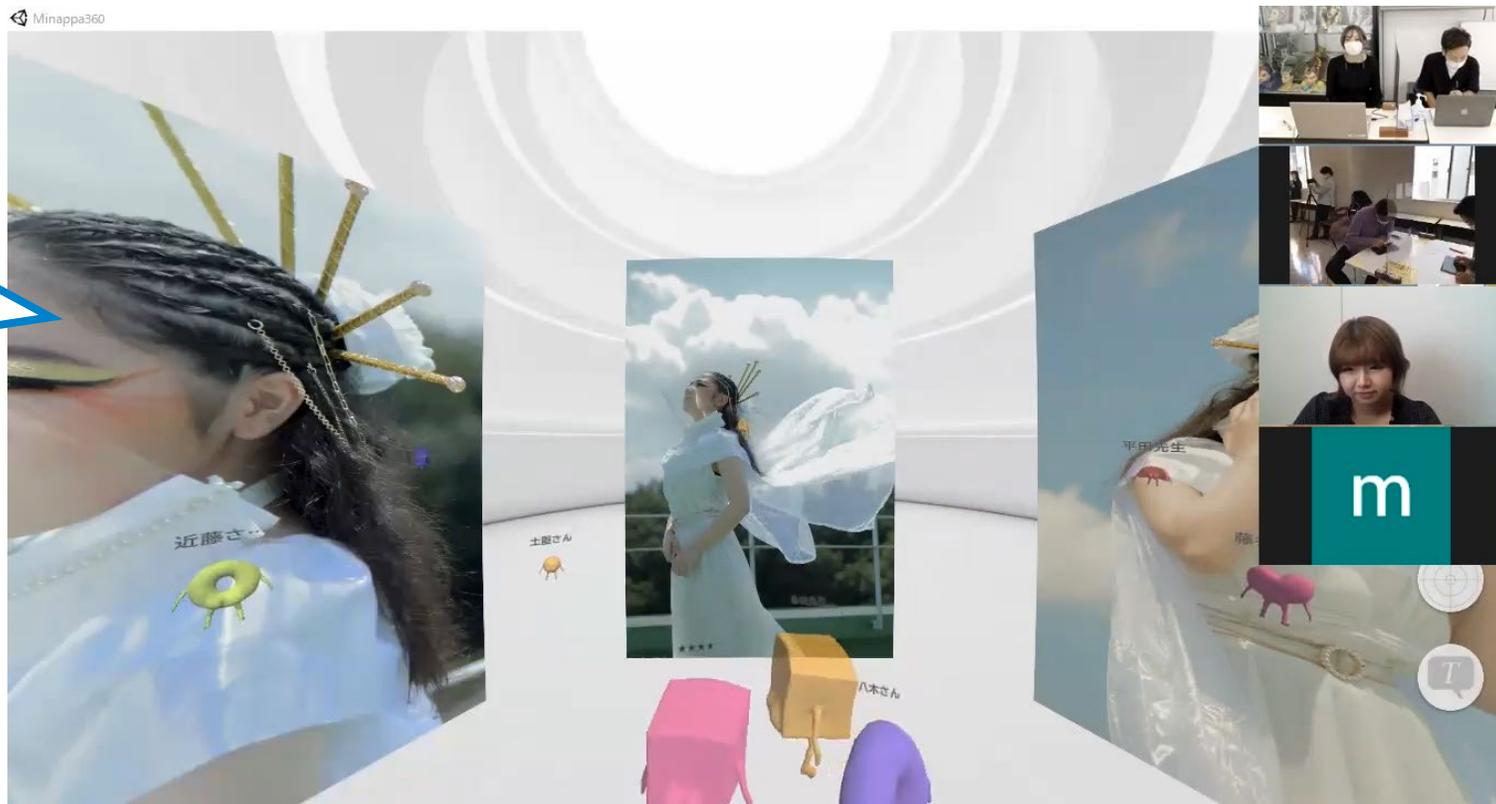
# 作品のオンラインコンテスト



- 大学の学園祭にて新たな賑わいの創出として実施。
- 学生が作品を紹介して関係者が評価する形態。

**実施形態：**山野美容芸術短期大学 ※NICTは技術提供のみ

学生の作品を  
パネルとして展示



司会進行

審査会場

制作者

# 友好都市の遠隔交流

- お互いの地域の文化や環境などの違いを学び、将来にわたって友好の絆を深めるために実施。
- 友好都市(別海町と枚方市)をオンラインで繋ぐ遠隔交流の形態。
- 地域の資源をお互いに補完し支え合う取り組み。

<パートナーシップ>



# 友好都市の遠隔交流

- お互いの地域の文化や環境などの違いを学び、将来にわたって友好の絆を深めるために実施。
- 友好都市(別海町と枚方市)をオンラインで繋ぐ遠隔交流の形態。
- 地域の資源をお互いに補完し支え合う取り組み。



※ 休憩時間中にデモをします

# 現実感をとまなうバーチャル演劇

- 実際の映像を演劇の舞台とすることで、地域に伝わる民話を地域の出来事であると容易に理解してもらうことがねらい。



## <パートナーシップ>

地域の活動団体



地方自治体

+

観光協会

# 参加型プラネタリウム



- プラネタリウムの映像空間にアバターで入れるようにすることで、リアルと併用した多様な活用や新たな演出を創出することがねらい。



## <パートナーシップ>

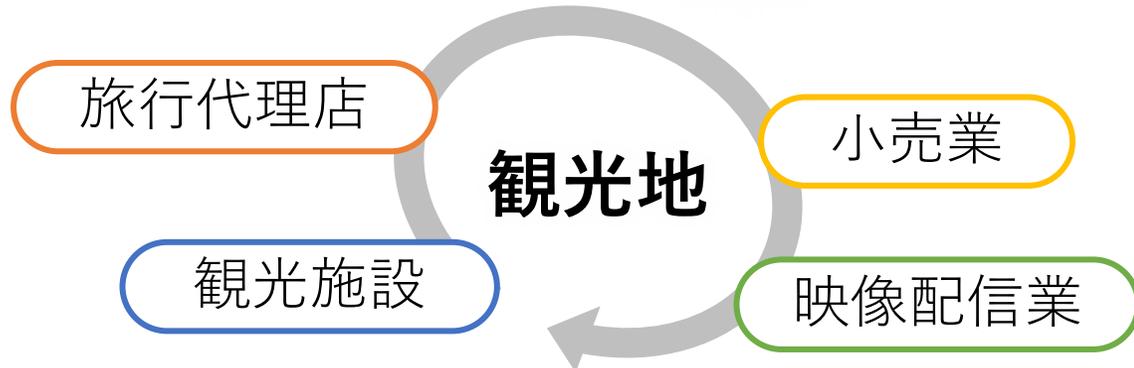


# 次世代バーチャルツアー

- 観光地に行けない方に非日常な旅行気分を満喫してもらうことで、より豊かな生活を実現することができるといえる。



<パートナーシップ>



# 謝 辞



「みなっば」を実践するにあたって、  
ご協力いただいた方々に感謝の意を表します。

なお、本研究はJSPS科研費 JP19H04385、JP18K02560の助成を受けたものです。

「みなっば」のお問い合わせなどは以下までお寄せください。  
情報通信研究機構 今井 弘二 ([koji.imai@nict.go.jp](mailto:koji.imai@nict.go.jp))